

能美スマートインクルーシブシティの 取り組みとオンライン診療

石川県能美市

石川県能美市の概要

令和5年9月1日現在



■ 人口 49,681人 19,932世帯(R5.9.1)

■ 外国人比率2.51% 県内比率1位

■ 面積 84.14km²

■ 海から里山まで。6割森林。

■ 財政力指数 0.67

■ 令和5年度一般会計予算 26,820百万円

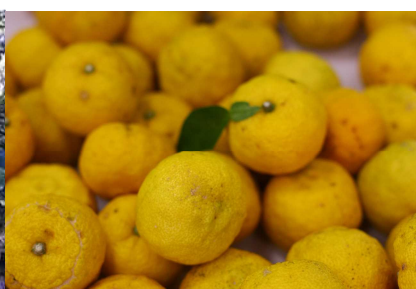
■ 住み良さランキング 27位

■ 一次産業 1.7% 二次産業 39.9% 三次産業58.3%

■ 窯業、繊維産業、産業機械、電子機器等 ニッチトップ企業

■ 特産品 九谷焼 国造柚子 加賀丸いも

年代	人口(人)	割合(%)
0-9	4,054	8.2
10-19	5,060	10.2
20-29	5,545	11.2
30-39	5,115	10.3
40-49	7,028	14.1
50-59	7,077	14.2
60-69	5,294	10.7
70-79	6,102	12.3
80-89	3,460	7.0
90-99	904	1.8
10-109	42	0.1
計	49,681	100.0

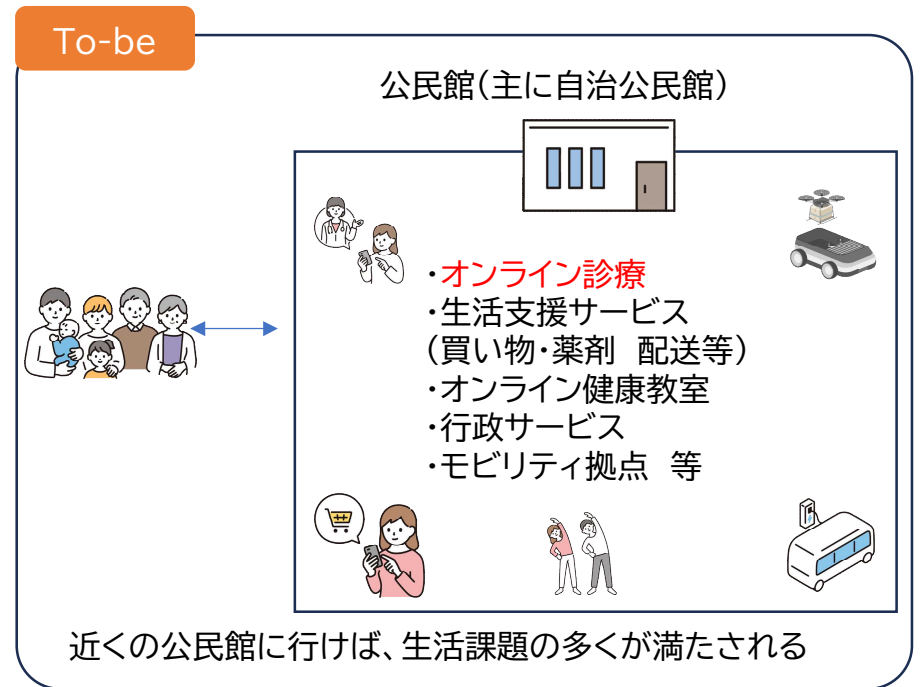
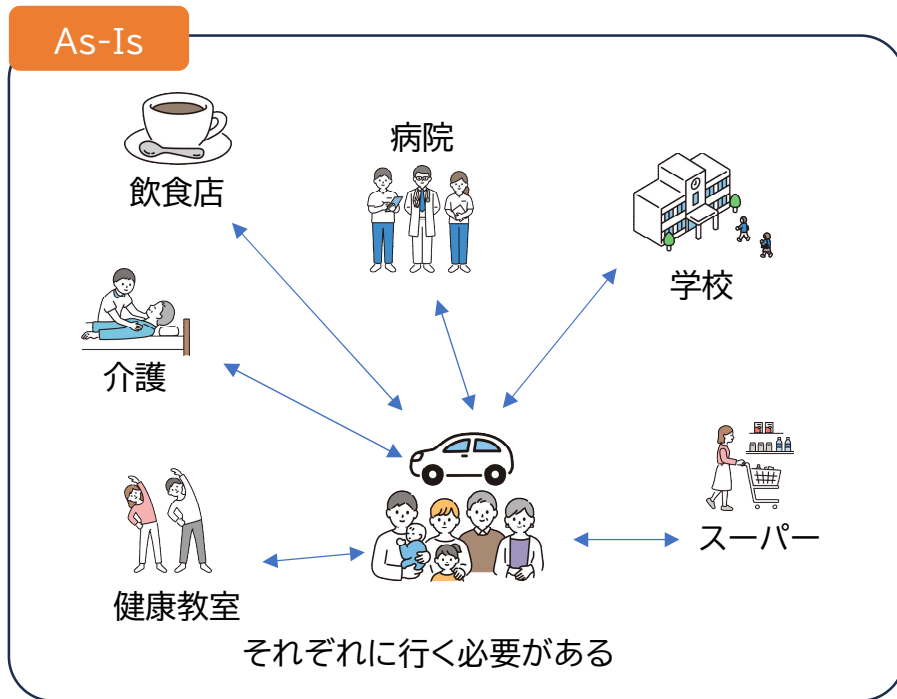


スマートインクルーシブシティ構想で実現する未来の生活イメージ

能美市(地方の生活)は住み続けるためには「**移動(人流・物流)**」が課題
バス等を3倍に増やすとしても、コストがかかる(足し算)



大事なのは、**生活に必要な機能が持続可能な状態で提供されること**
①それぞれにきちんと行けるように(より良く) ②行かなくてもよいように(変える)



未来のすがた(未来の生活)

人流・物流を減らした(最適化された)、公民館を活かした能美市型の生活スタイル(のみモデル)

- ・公民館の機能として、**オンライン診療を受診できる環境を構築したい**
- ・変わるもの:時間の使い方 ・減るもの:移動コスト 増えるもの:コミュニケーション、**生活の選択肢**

公民館等でオンライン診療を受診する環境が必要な理由

- ・オンライン診療は自宅で行うことは、現時点でも規制はされていない(前提)

能美市立病院がオンライン診療を施行検証した事例

高齢者宅にタブレット端末を持ち込み、看護師やケアマネがサポート

事例1 生活保護高齢者

- ・スマートフォン所持なし。
- ・タブレット端末で医者とコミュニケーションできること自体に驚く
- ・コミュニケーション時に声が聞こえにくいいため、
看護師が耳元で再度話しかける(翻訳・通訳)。

事例2 高齢者

- ・コミュニケーションはとれるが、機器操作に不慣れ

事例3 認知症

- ・「病院の診察室で話をしても、認知症の症状がでない。
自宅や公民館等で普段の生活に近い場所ならば、表情や行動が確認できる」

→高齢者が利用するには、サポートする人がいた方がスムーズ
(医療自体よりも、機器操作やコミュニケーションのサポート)

→高齢者宅インターネット環境・デジタル機器がない家庭もある(アプリ利用のハードル)

→本人の生活環境に近い場所での観察や問診により、在宅医療・介護の判断に有用の可能性

公民館や施設での利用

社会教育法における公民館

第二十条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

→社会教育施設としての人間的諸能力の発達 + 福祉 + 地域づくり + 防災 etc...

自治公民館(集会所や自治会館など)

町内会・自治会等が設置運営。自治運営拠点+公民館的類似機能拠点 全国に7万超。
常駐職員がなく、利用時にだけ開館する町会もある。

病院や商店はなくても、自治公民館だけはある(社会資源の活用)

(町内会とのコミュニティ施設・指定管理業務仕様書)

「利用者にサービスの提供をするとともに、清潔で安全・快適な環境・保安警備に努め良好な施設の維持管理を行うこと。」

「へき地等において特例的に医師が常駐しないオンライン診療のための診療所の開設について(令和5年5月18日付医政総発0518第1号)」

→能美市は対象外地域であり活用できない。

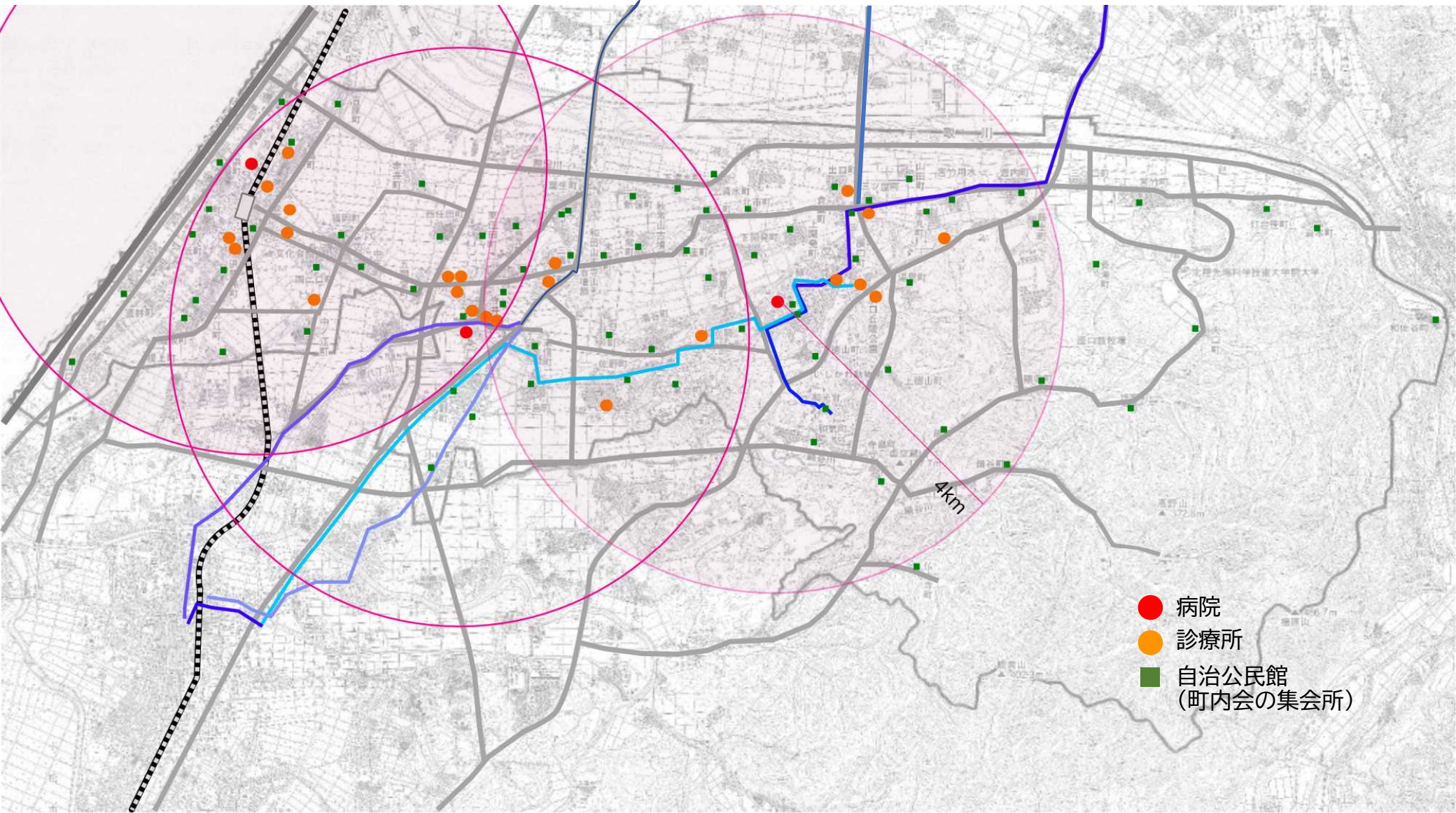
その他オンライン医療潜在ニーズ

・学校の保健室・保育園の医務室

→18歳までの乳幼児等医療費窓口無料で実施。請求含めて合理化可能。

・介護施設(デイサービス等)での実施等

医療機関の位置 病院から4km



病院から4kmという距離

・車 5～10分 ・徒歩なら約1時間 ・バスなら15～45分+徒歩0分～10分

・気候変動の問題

夏季(5～11月)30℃超、冬季0℃に近い気温
悪天候(雨+風+雪+雷)

・インフラ(歩道整備・公共交通)の問題

「バス路線がなくなって、タクシーで行くと往復4000円以上かかる」
「片道バスで行ったとしても帰りの路線がとても時間がかかるか、タクシー利用」
そもそも、タクシー会社が市内にない。

・ライフスタイルと合っていない

移動という時間の使い方
都会の1キロ(お店が続く、地下あり)と田んぼ道の1キロの精神的な遠さは違う。

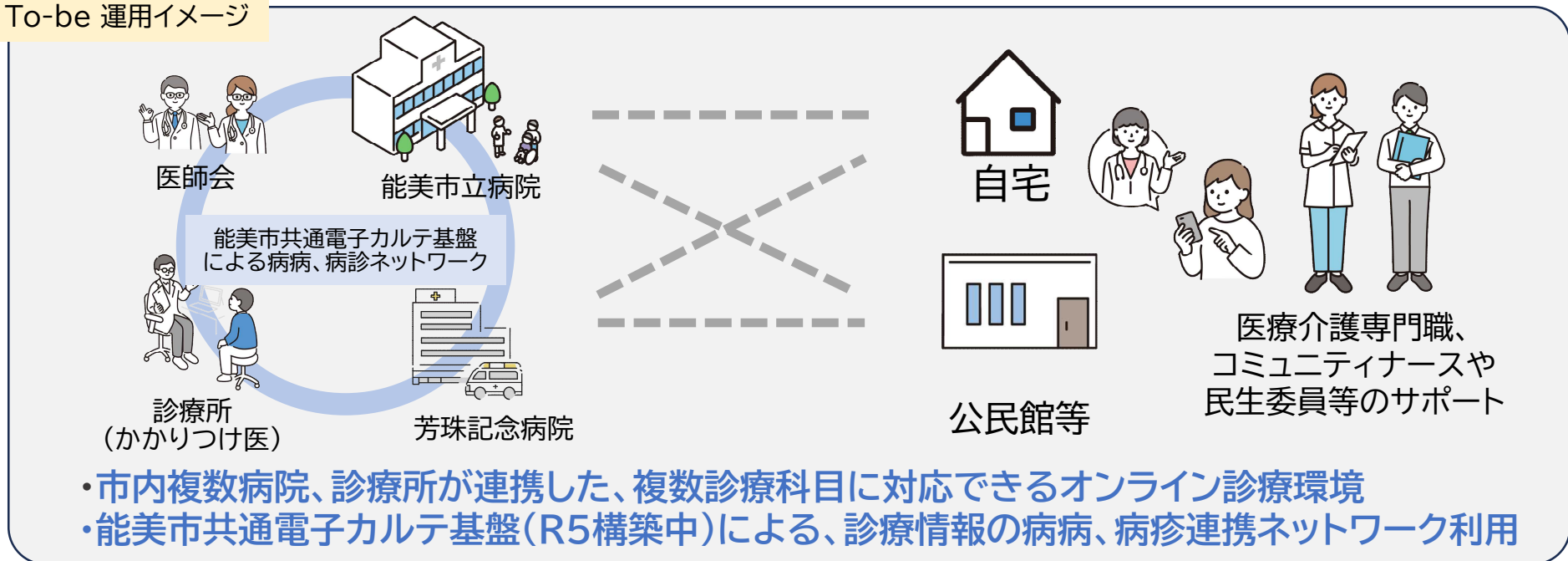
・病院行く人は病人

健康に問題があるから病院に行く
乳幼児が病人だったり、親が病人の場合、子どもをケアしながらの移動

→病院まで歩く行程があるのは(健康な大人でも)現実的な選択肢になりえにくく、
移動の問題が付きまとう。

身近な施設で医療が受けられるように暮らし方の選択肢が増えることが、都会、地方、過疎問わず、全国共通の課題解決になりうる

To-be 運用イメージ



- ・オンライン診療を行うデジタル環境
- ・サポートできる人の支援体制。
- ・病院ではない、自宅に近い診療環境
- ・人口減少に起因する、移動や医療環境の非効率への医療環境の対応。

→全国共通の課題であり、オンライン診療を希望すれば受診できるよう、選択肢を用意することが重要。

については、「へき地等において特例的に医師が常駐しないオンライン診療のための診療所の開設について(令和5年5月18日付医政総発0518第1号)」通知に関し、全国で適用してほしい。

参考資料

デジタル田園都市国家構想交付金デジタル実装タイプ2採択
能美スマートインクルーシブシティ事業

能美市スマートインクルーシブシティ ~誰ひとり取り残されないスマートであたたかな能美市へ~

背景・対応方針

課題

- ・地理的に多様で中心街もなく生活機能が分散しており、属性問わず車が不可欠で孤立無援のリスクが高い。
- ・高齢者の増により住み慣れた地域で住み続けるために、在宅医療介護体制の連携強化が必要。
- ・市民力を活かした地域の見守り強化が必要

解決策

- ・在宅医療介護の情報共有プラットフォームを構築し、多機関多職種の情報連携と対象者へのサービスとデータを集約する。
- ・福祉見守りあんしんマップをデジタル化し、情報鮮度をあげ、地域見守りや防災、救急との連携を図る。
- ・オンライン医療や買い物支援等を連動させた総合生活支援サービスにより、車がなくても生活できる仕組みをつくる。
- ・地域資源(公民館等)をサービスと人の交流拠点としてアップデートし、人のつながりを促進する。

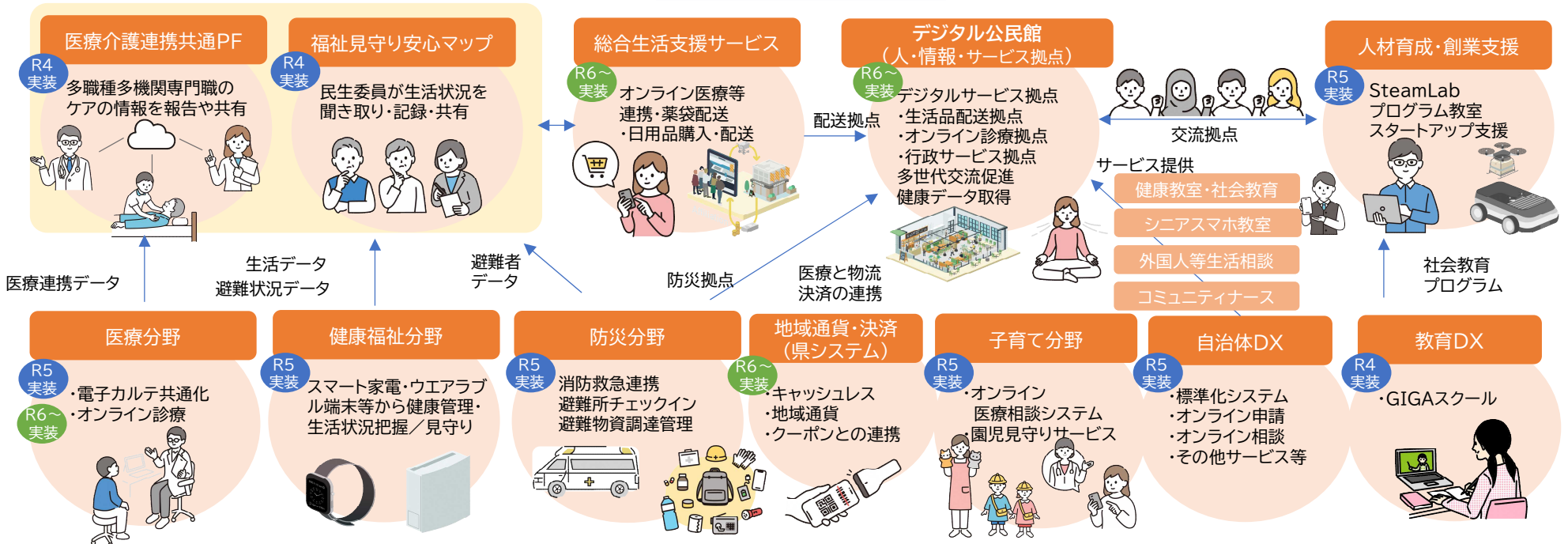
実現する姿

- ・在宅医療・介護の質の向上と機能強化、孤立孤独を産まない、あたたかな地域づくりに寄与する。
- ・人流物流を最適化し、医療や介護サービス、買い物等、住み慣れた地でずっと暮らし続けることができる。

人にやさしく幸せに暮らせるあたたかなまち

安全・安心に生活できるまち

地域活力の向上



課題 ～移動困難に起因する孤立無援と生活維持のリスクをどう対応していくか～



- ・多様な地理的特徴
- ・中心街がなく施設分散
- ・交通インフラの脆弱
- ・少子高齢・人口減少



- ・本人だけでなく
支援者にもつなげる
- ・医療介護福祉の連携
- ・人流・物流の最適化



1. 孤立孤独がない
あたたかな地域
2. 車がなくても安心して
住み続けられる地域

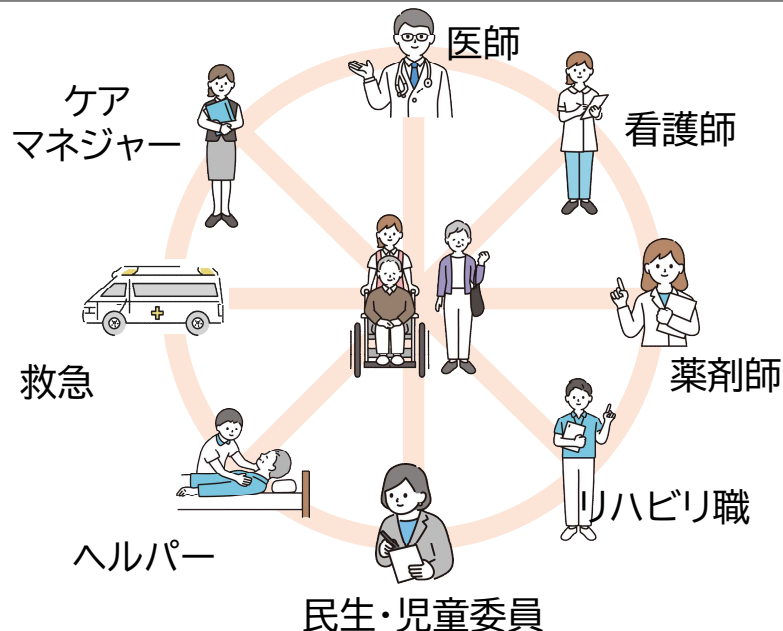
誰ひとり取り残されないスマートであたたかな能美市へ

福祉見守り安心マップ:

75歳以上のみ世帯、障がい者、要介護3～5の方、約3,000名を対象に生活状況等を民生委員が聞き取り、記録、共有する。
救急消防・自主防災組織にも共有。

医療介護情報連携システム:

ケアに関わる文書のほか生活状況等のメモ、画像、動画などを共有しケアの質向上を図る。



3,000人

民生・児童委員が聞き取り
情報共有する対象者

150
機関・団体

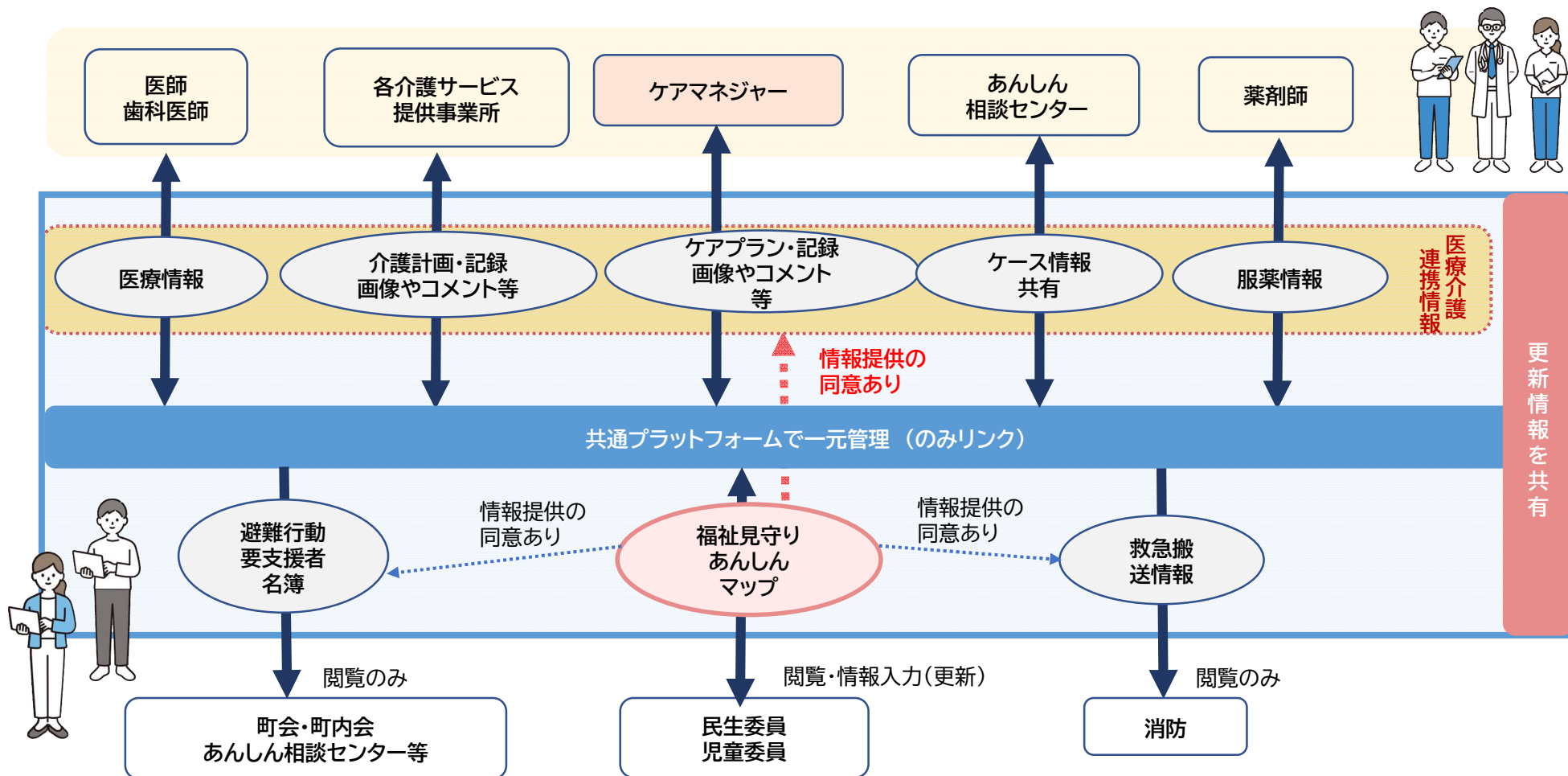
「のみリンク」参加
医療介護事業所・団体数

400
アカウント

「のみリンク」利用
アカウント数

「のみリンク」～医療・介護・福祉の情報連携～

福祉見守り安心マップおよび医療介護情報連携システムの情報連携イメージ。
情報共有の同意を得て、必要な機関へ情報共有する。



2023 令和5年度サービス

安心子育てサービス:

- ・オンライン医療相談
- ・着衣型IoTによる園児見守りサービス

安心在宅生活サービス:

- ・ウェアラブル端末及びIoT家電による見守りや健康管理サービス

安心防災サービス:

- ・避難所チェックインと人・情報・サービス拠点としてのデジタル公民館機能

医療DX:

- ・市内医療機関の共通電子カルテ(HL7FHIR準拠)とデータ連携基盤構築による病病連携、病診連携等、地域医療体制の強化



能美市の妊産婦・未就学児の保護者の皆様へ

Nami city × Cinnamonroll
0114-999-0000

利用料金 無料

気軽に相談
いつでも頼れる

HELPO
HEALTHCARE IN POCKET

妊娠中・育児のお悩みや健康についての「ちょっと困った」ことにいつでもお答えするヘルスケアアプリです。

POINT 1
24時間 365日
いつでも相談可能

POINT 2
チャットで気軽に相談

POINT 3
HELPO 専任の
医師・看護師・薬剤師が対応

オンライン医療相談アプリ



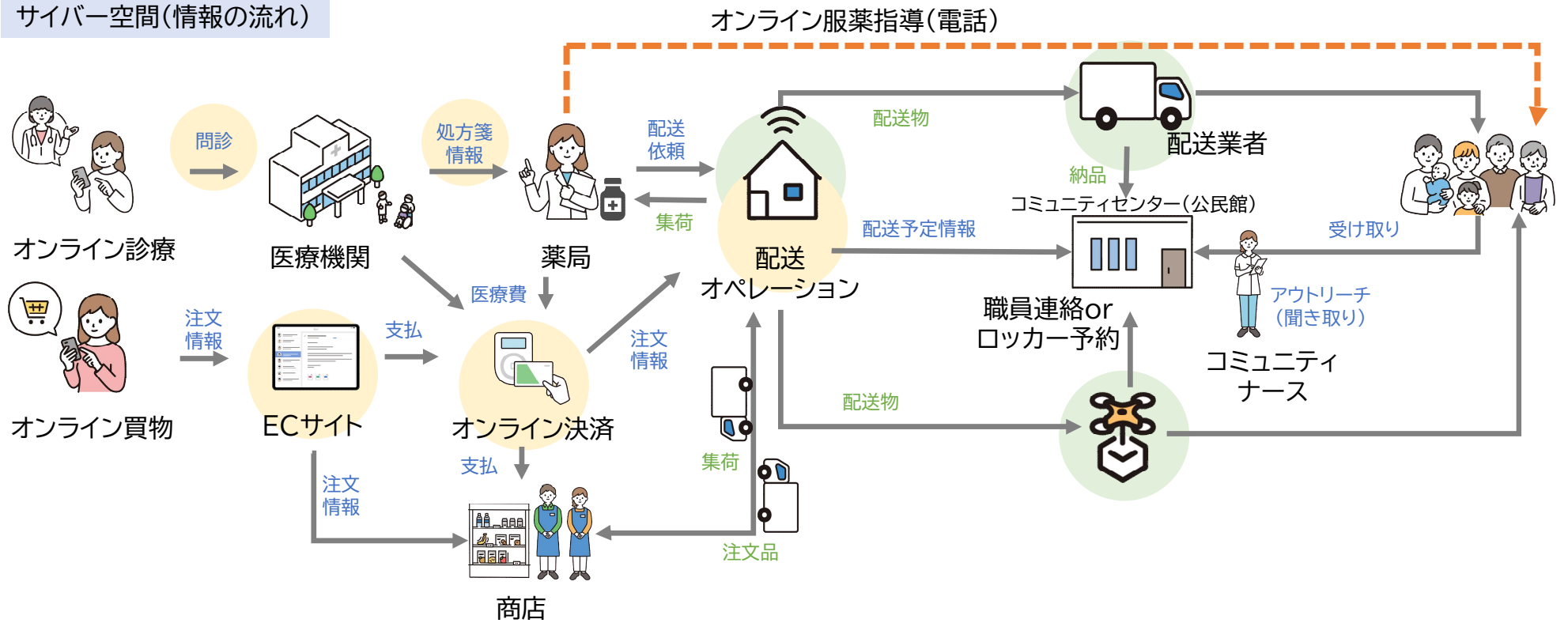
着衣型IoTによる園児見守りサービス

コミュニティセンター2.0と総合生活支援サービス

システム(ソフト)的な整備

物理的な整備

サイバー空間(情報の流れ)



フィジカル空間(人流・物流)

